

令和8年度 学校経営の基本方針

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

「社会でよりよく生きていく人を育てる」という最上位の目標のもと、

知・徳・体の調和のとれた、魅力ある生徒を育成する。

目指す生徒像

ア 確かな学力を身につけた生徒

イ 豊かな心を持った生徒

ウ 健やかなからだを備えた生徒

(2) スローガン

『 WE LOVE 北中 ～ 自分らしく 人のために 行動する ～ 』

このスローガンは、自己犠牲ということではなく、自分自身の成長を基盤としながら、他者の利益や社会全体の調和を考えて行動することを示している。人のために行動することが、自分の成長や喜びに繋がることを中学校生活における様々な活動を通して経験し、自分自身の人間性を豊かにし、変化の激しい現代社会をたくましく生きる力を育んでほしい、という願いを込めている。

(3) 経営方針

教職員の信頼と責任ある協力体制を確立し、全職員が本校の教育目標の実現に向け、自己研鑽に励み、自己の資質・授業力の向上に努め、生徒にとって「通いたくなる学校」、保護者・地域の人々にとって「通わせたい学校」づくりを目指し、『WE LOVE 北中～自分らしく 人のために 行動する～』のスローガンを意識した学校づくりを推進する。

そのために、

ア 「わかる・できる・身につく・学び合う」楽しい授業を目指し、確かな学力を育成する。

イ 互いのよさと違いを認め合う仲間づくりに努め、豊かな人間性や社会性を育成する。

ウ 体力の向上と安全で健康な望ましい生活習慣の定着を図り、健やかな体を備えた生徒を育成する。

エ 潤いのある学校環境づくり、信頼される学校づくりを推進する。

(4) 本年度の重点努力目標

ア 確かな学力を育むために

・「基礎基本の定着」を図る授業づくり・・・リーディングスキル、系統的学び、スモールステップ

- ・「より深い思考」を促す授業づくり・・・話し合い活動（個人・ペア・グループ）
- ・「ねらい、評価基準」を明確にした授業づくり・・・ルーブリック

イ 豊かな心を育むために

- ・目の前のことに集中する「黙道清掃」を継続し、生徒の心を育てる。
- ・生徒理解を深め、個に応じた対応のために、Q-Uを効果的に活用する。
- ・学校行事を通して、人間関係力・自治的能力・互いの信頼関係を育てる。
- ・特別な教科「道徳」を全職員が研究・実践し、生徒の心を育てる。
- ・不登校生徒などの居場所づくりと自立支援のために、スマイル(SR)の運営推進に努める。

ウ 健やかな心と体を育むために

- ・栄養・運動・睡眠などの生活習慣づくりを啓発する。
- ・体育の授業、体育的行事や部活動などの運動に親しむ機会の充実を図る。
- ・「けが・事故防止」の研究実践の推進を図る。

エ 信頼される学校づくりのために

- ・常に生徒に寄り添い、生徒の声に傾聴し、心が通じ合う人間関係づくりに努める。
- ・教師と保護者、大人の協力。「一緒に～しましょう」という「行動連携」の姿勢を大切に
にした協力体制を確立する。
- ・学校運営協議会、学校評価、アンケートなどを通して、家庭や地域の声を学校運営に生
かす。
- ・施設・設備の安全管理の徹底、熱中症や感染症などの予防など安全管理に努める。

オ 多忙化解消の取組み

- ・より働きやすい学校にするための業務改善を継続し、在校時間を縮減する。